



2026年4月20日

各位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ
(東証グロース・コード3070)
本社所在地 東京都台東区上野1丁目16番5号
代表者 代表取締役社長 宮崎 明
問合せ先 取締役 IR広報室長 林 光
電話番号 (03) 4570-6139
(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

ジェリービーンズグループ、AIカメラ1万台プロジェクトの主導へ ～ 5社連合を統括し、2030年に向けた超巨大ストック型収益基盤の構築を加速 ～

株式会社ジェリービーンズグループ（本社：東京都台東区、代表取締役：宮崎 明、以下「当社」）は、Intelligence Design 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：中澤 拓二、以下「ID社」）が推進する、2030年までに全国1万台のAIカメラ設置を目指す巨大プロジェクト「Project ZERO」に参画いたします。

本プロジェクトの完遂に向け、当社はデバイス調達、電気設備、設置工事等の各分野に強みを持つ企業らと共に、5社による業界横断型連合「ZERO Alliance」を発足し、当社はその全体プロジェクトマネジメント（PM）を担う司令塔として、ID社のAI解析技術「IDEA」の社会実装を主導してまいります。

1. プロジェクト発足の背景

現在、日本国内では少子高齢化に伴う深刻な人手不足や、インフラの老朽化、安全管理コストの増大が大きな社会課題となっています。これらを背景に、AIカメラを活用した現場の自動化・可視化に対する需要が、自治体や交通インフラ、商業施設などの幅広い分野で急速に高まっています。

ID社が提供するAIカメラ「IDEA」は、エッジAI処理による極めて高い認識精度（99%）を誇り、すでに東京都渋谷区をはじめとする全国の自治体や主要な交通インフラで導入が進んでいます。当社は、2026年3月17日付で公表した「Intelligence Design 株式会社との資本業務提携及び第三者割当増資引受による同社株式取得に関するお知らせ」のとおり、ID社との資本業務提携以降、同社の高度なAIソリューションを社会へ実装する「ブリッジ（事業推進役）」として、自治体DXや一次産業（農業・漁業）向けソリューションの展開を協議してまいりました。

しかし、2030年に「事故ゼロ社会」を実現するためには、単なる製品提供に留まらず、全国規模での「デバイス調達」「迅速な設置工事」「継続的な保守メンテナンス」を網羅する、強固なサプライチェーンの構築が不可欠でした。

そこで、上場企業として全体マネジメントを担う当社を中心とし、各工程のプロフェッショナルである5社が結集いたしました。本コンソーシアム「ZERO Alliance」の発足により、官民連携を加速させ、2030年までに1万台のAIカメラを全国に普及させる体制が整いました。当社は、この巨大プロジェクトの司令塔として、日本の安全・安心を守る知能ネットワークの構築を強力に推進してまいります。

2. プロジェクト概要

プロジェクト名	Project ZERO（プロジェクト ゼロ）
コンソーシアム名	ZERO Alliance（ゼロ アライアンス）
目標	2030年までにAIカメラ「IDEA」を全国1万台設置
参加企業	Intelligence Design 株式会社（幹事）、

株式会社ジェリービーンズグループ
株式会社共ショウ
小川電機株式会社
株式会社共立電照 計5社

始動日 2026年5月1日
背景・目的 「2030年 事故ゼロ社会」の実現に向け、AIカメラの
全国普及を官民連携で加速する

【「Project ZERO」に込めた想い】

「ZERO」は、ID社が掲げるビジョン「2030年 事故ゼロ社会」に由来します。重大インシデントをゼロに近づけるという社会的使命を、パートナー各社と共有し、1万台のAIカメラが張り巡らす「知能のネットワーク」で日本中の安全・安心を守ることを目指します。

3. プロジェクトを推進する「ZERO Alliance」参画企業

本プロジェクトの完遂に向け、開発・戦略・調達・施工・保守の各フェーズにおける国内屈指のプロフェッショナルが集結いたしました。当社はこれら各社の専門能力を統合し、全体プロジェクトマネジメント（PM）を遂行いたします。

(1) 【製品・技術基盤】 Intelligence Design 株式会社（幹事社）

- ・役割：AIカメラ「IDEA」の供給、データ解析プラットフォームの提供
- ・強み：認識精度99%を誇るエッジAI解析技術を保有しています。渋谷区や主要自治体、鉄道各社での豊富な導入実績があり、本プロジェクトの核となる技術を担います。
- ・会社HP：<https://i-d.ai/>

(2) 【全体PM・戦略・投資】 株式会社ジェリービーンズグループ

- ・役割：全体プロジェクトマネジメント（PM）、戦略推進、資本戦略
- ・強み：東証上場企業としての信用力と投資家ネットワークを活用します。コンソーシアムのハブとなり、1万台設置に向けたリソースの最適化と事業の収益化を牽引します。
- ・会社HP：<https://www.jelly-beans-group.co.jp/>

(3) 【調達・販売コーディネート】 株式会社共ショウ

- ・役割：デバイスの広域調達、在庫管理、施工調整
- ・強み：昭和23年創業の老舗商社です。産業資材の広範なネットワークを活かし、全国規模でのデバイス供給体制と、資材調達の安定化を強力に支えます。
- ・会社HP：<https://www.e-kyosho.co.jp/>

(4) 【電材供給・保守支援】 小川電機株式会社

- ・役割：デバイス供給、設置支援、アフターメンテナンス
- ・強み：取扱い商品数150万点を超える国内有数の電材商社です。全国の拠点網を活用し、AIカメラの安定稼働に欠かせない保守・運用体制を提供します。
- ・会社HP：<https://www.ogawa.co.jp/>

(5) 【電気設備設計・製造】 株式会社共立電照

- ・役割：電源・電気設備の設計・製造、施工管理
- ・強み：50年以上の歴史を持つ電機メーカーのグループ企業です。電力インフラ、防災、環境省エネ事業に精通し、あらゆる環境下での確実なインフラ整備を可能にします。
- ・会社HP：<https://mge-led.com>

4. 当社の役割：プロジェクトの「司令塔」

本プロジェクトにおいて、当社は全体戦略の立案および推進を担う中核的存在として、以下の役割を遂行いたします。

- (1) **戦略的PM（プロジェクトマネジメント）**： デバイス供給、設置工事、保守メンテナンスを担う各パートナー企業を統括し、1万台設置に向けたロードマップを管理します。
- (2) **投資家ネットワークの活用**： プロジェクトの拡大に伴う追加の資金戦略や、資本市場における価値最大化を主導します。
- (3) **グループシナジーの創出**： 当社の持つ物流・事業ネットワークをAIカメラの展開に活用し、社会実装を加速します。具体的には、既に協議を開始している地方自治体や農業・漁業団体とのネットワークを基盤に、害獣検知（農業DX）や赤潮探知（水産DX）といった地域創生ソリューションの全国展開を推進してまいります。

5. 数値目標

本プロジェクトは、設置台数の増加に伴い収益が積み上がる高収益ストック型ビジネスです。

年度	累計設置台数
2026年	464台 (2026年3月末時点で185台設置済。 残りの279台に関しては基本合意済。)
2028年	3,463台
2030年	10,000台

【将来予測に関する注意事項】

本資料に記載されている累計設置台数は、現時点での経営計画に基づく中長期的な目標です。実際の設置台数は、今後の市場環境や事業進捗等の様々な要因により異なる可能性があります。

本件による当社の連結業績への影響は現時点では、軽微であると考えております。

6. AIカメラ「IDEA」について

製品名	IDEA (Intelligence Design Edge Analytics)
認識精度	99% (カウント精度 95%、属性取得率 80%超)
解析機能	歩行者・車両・群衆の行動解析、属性認識、滞留検知など随時更新
稼働期間	最短2週間で稼働開始。既設カメラの活用も可能
セキュリティ	ISO/IEC 27001・プライバシーマーク取得
導入実績	渋谷区、岡山市、名古屋市、秋田市、小田急、東急など全国主要都市・交通インフラ

以上